

# しごとサポート!

第20号

※障害のある方が安心して働き続けることができるように、仕事に関する相談や支援を行っている文京区の支援機関です。

## 働き方改革 × 障害者雇用 戦略的取組みで企業価値の向上へ



●講師：窪 貴志(くぼ・たかし)氏 株式会社エンカレッジ代表取締役。  
企業の新規事業開発や経営コンサルティングなどに従事。その後、2010年、  
企業の障害者雇用、福祉施設に関わるコンサルティング会社に参画。2013年  
に、(株)エンカレッジを立ち上げ、代表取締役に就任。関西を中心に、企業の障  
害者雇用コンサルティングを実施しながら、発達障害のある大学生・既卒生  
を対象としたキャリア支援・就労支援事業に取り組む。プライベートでは、キ  
ャリア教育系のNPO活動などにも取り組んでいる。

10月4日に講演会「障害者雇用の現状と実践的  
就労支援～働きづらさのある人と共に働く～」を行いました。

多くの企業、就労支援機関、区民に参加いただきました。講師は、企業側、支援側、双方の視点からお話しいただける方として、大阪から窪貴志さんをお招きしました。(以下は講演内容を執筆者の責任で抜粋したものです。)

まず、「障害」とは何でしょうか。例えば車イスの社員が階段を上れず困っていた時、上司がこう言ったとします。「登れないのは気合いが足りないからだ。」障害は気合いや個人の責任で乗り越えるものでしょうか。障害は周囲との関係性で生まれるものです。物理的な環境を整えることや、人的なサポートがあれば「障害」を障害でなくすることができるのです。

精神障害や発達障害の場合は目に見えにくい障害であるため、理解や共感が得にくい、という問題があります。ただし、障害への配慮の考え方は同じです。就業時間・休憩時間への配慮、コミュニケーションの工夫、業務や指示・指導の工夫など、対象者によって具体的な配慮内容を変えて行っていくことが大事です。また、職場で起きている問題の所在として、力の弱い個人だけに焦点を当て

るのではなく、スタッフの関係性の問題や会社全体のマネジメントの問題を構造的に理解することも大切です。

就労支援の現場で現在、課題になっていることの一つに、発達障害などの困難さを抱えた学生の支援があります。しかし、障害学生=障害者雇用ではありません。健常と障害の境目が曖昧なグレーゾーンという言葉に表れているように、発達障害などで働く困難さを抱えた学生は、一般雇用と障害者雇用の狭間で揺れているのが現状です。こうした悩みのプロセスを支えられる仕組みが必要となります。こうしたケースでは、学内で事前に情報を整理し、一般雇用と障害者雇用の両方を対象にしたマッチングを図って、働きづらさを抱えた人を安心して社会に送り出すことが大事です。

企業は障害者雇用単体で考えるのではなく、「戦略的に」会社を良くしていく取組の一環として考える必要があります。障害への理解や配慮がある会社は、新入社員や女性社員など誰しもが働きやすく、社会の変化にも目をむけている会社として社会的認知度が上昇します。その結果、顧客からの評価も高くなり、求人応募が増え採用が進み、社員が働きやすくなり離職率が下がる、といった企業価値の向上につながるのです。

(執筆者：山崎正)

コラム

「ハローワークと障害者就労支援センターの違い？」

これから就職活動をされようとした際に、どのような方法で仕事を探されるでしょうか。アルバイト情報雑誌を見て仕事を探す方もいれば、人材紹介会社に登録をする方もいると思います。多くの方はハローワークに行くとお答えになるのではないのでしょうか。

障害者就労支援センターへこれから働きたいと相談にお越しになる方から、よくこんなご質問があります。

「ハローワーク(公共職業安定所)と障害者就労支援センター、何が違うんですか」

「働く」ことへ関わる機関という点は同じです。ただ、できることや役割は異なっています。違いについて簡単に整理してみました。ご参考にして頂ければ幸いです。(記載した内容は一部になりますので、実際にご活用される際にご確認をお願い致します)

【ハローワーク】

- ・職業紹介ができる
- ・主に就職の入り口の支援を行っている

【障害者就労支援センター】

- ・職業紹介はできない(ハローワークの求人を活用して就職活動の支援をしています)
- ・就職の入り口から定着の支援を行っている

文京 ハートフル工房

「ハートフルコンサート」のお知らせ

**ハートフルコンサート**  
 障害者のある音楽者によるエンターテインメント演奏会です。  
 身体全体で表現する楽器の音も聴かせます。  
 日時：令和2年3月24日(火)  
 12時10分～(約30分間)  
 場所：区民ひろば 文京シビックセンター地下2階

～演奏曲目～  
 1 HANABI  
 2 糸  
 3 交響曲第7  
 4 交響曲第7  
 5 情熱大陸

文京ハートフル工房は、障害者音楽の普及を図ります。障害者雇用や就労への理解を深めるとともに、区内障害者施設の仕事アップ、障害者の就労活動の軌道向上を目的として、障害のある音楽者の方が自らとり組みたいです。

会場：区民ひろば(文京シビックセンター地下2階)  
 販売会開催時間：10時～15時30分  
 お問い合わせ：文京区障害者就労支援センター  
 TEL 03-5805-1600 FAX 03-5805-1601

◆開催予定

日時：令和2年3月24日(火)  
 ハートフル工房開催時間  
 (10時～15時30分)

ハートフルコンサート  
 (12時10分～)

場所：区民ひろば  
 (文京シビックセンター  
 地下2階)



3月のハートフル工房は、チャリティーコンサートなど音楽による復興支援活動をされている戸張さんをお招きし、12時10分よりハートフルコンサートを開催します。「HANABI」、「糸」など5曲奏でいただく予定です。当日は、障害者施設の商品販売会をしておりますので、お店にも是非足をお運び下さい。

「障害のある方の職業体験の受け入れをしてみませんか？」

文京区内中小企業事業主の皆さまへ！  
**障害者の職業体験の受け入れをしてみませんか？**

職業体験受入れ奨励金  
 ・1日2時間以上4時間未満…1日につき2,000円の助成  
 ・1日4時間以上…1日につき4,000円の助成

雇用促進奨励金  
 ・職業体験受入れを経て、雇用した場合…10万円を助成

【職業体験受入れ奨励金】

- ・1日2時間以上4時間未満…1日につき2,000円の助成
- ・1日4時間以上…1日につき4,000円の助成

【雇用促進奨励金】

- ・職業体験受入れを経て、雇用した場合…10万円を助成

職業ガイダンス参加しませんか



毎月第1・第3水曜日

開催しています!

【開催予定日】

2月：5日(水)、19日(水)

3月：4日(水)、18日(水)

文京区障害者就労支援センターは、障害がある方が安心して働き続けられるよう、「仕事」に関する様々な相談や支援を行っている文京区の支援機関です。

文京区在住の方であれば、障害者手帳をお持ちでない方も含めて、ご活用いただけます。(相談は無料です。)

障害者就労支援センターに興味を持たれた方は、まずは毎月第1、第3水曜にある「職業ガイダンス」にご参加ください。(予約必須)

まずはご予約ください。

(電話・FAX・メール・直接お越し頂いて)

電話 03-5805-1600

FAX 03-5805-1601

メール daihyo@bunkyo-shuroushien.jp



障害のある方の職業体験の受け入れをいただいた、文京区内の中小企業事業主を対象にした「文京区中小企業障害者職業体験受入れ助成事業」を行っています。

職業体験受入れ奨励金の他、体験受入れの後、雇用した場合に雇用促進奨励金があります。

「何をしてもらえばいいんだろう」、「短時間でもいいのだろうか」など、職業体験にあたりご質問がありましたら、お気軽に障害者就労支援センターまでお問い合わせ下さい。(記載した条件以外にも諸条件がありますので、活用ご検討の場合もお問い合わせください。)

就労支援のお問い合わせ

TEL 03-5805-1600 FAX 03-5805-1601 E-mail : daihyo@bunkyo-shuroushien.jp

文京区民センター1階 文京区障害者就労支援センター

〒113-0033 文京区本郷4-15-14

文京区障害者就労支援センター通信「しごとサポート」 第20号(令和元年1月31日発行)

発行■文京区障害者就労支援センター 毎回、障害のある人の「働く」を発信していきます。次号もご期待ください。

